

## 交通安全対策について

**(質問)** 野町南一丁目での造成工事中、歩道まで工事が及び稲生小学校の児童が車道に出て登下校する危険な状況が続いた。今後、このようなことがないように通学路の安全対策を講じることを求める。また、磯山4の交差点は、右折できず渋滞が慢性化している。右折用信号機を設置し、安全対策を講じることを求

める。桜島市宮住宅東の信号機や中旭が丘の交差点に時差式信号機を設置できないか。

**(答弁)** 工事着手届出書が提出された時点で、通学路に関する小学校に十分に説明されたかを確認し、通学路を工事する場合は、パトロールを強化して安全対策に努める。保護者やボランティアの方などに対し、学校だよりや学校メールなどで情報提供を行う。

交通安全対策として、右折用信号機の設置や時差式信号機の設置に向けて、所管する鈴鹿警察署に働きかけていく。

## 業務改善について

**(質問)** 職員数が減少する中で今後も多様な市民ニーズに対応するには、情報技術(IT)の導入や業務の標準化が必要と考える。市民相談や窓口業務により時間を割けるように、事務作業の負担軽減や効率化、コスト削減など、職員の間からも近年さまざまなアイデアが提案されている。業務改善への考えを問う。

**(答弁)** 国では現在、ITを活用して業務の自動化・省力化を図り、より少ない職員で効率的に事務処理する体制の構築を目指している。行政経営の視点からも、「やり方の改善」は業務時間の削減による歳出削減や、新たなニーズに対する市民サービスの向上などの効果が考えられる。本市でも、IT導入に向け業務の標準化・共同化の必要性や効果に関する情報を共有し、各部署での業務の棚卸しを促すだけでなく、さらなる調査・研究に努める。

**その他の質問**○改元に伴う行政対応について

## 入国管理法の改正について

**(質問)** 本年4月1日施行の入国管理法の改正内容は。また、本市で実施している多文化共生の施策と法改正後の対応を尋ねる。

**(答弁)** 法改正の主な内容は、就労を目的とした在留資格が新たに創設され、農業・漁業・建設・介護・宿泊など14業種においても就労できるようになるものである。現在、本市で

は「鈴鹿市多文化共生推進指針」を策定し、各種施策に取り組んでいる。外国人市民への支援としては、転入手続きの際にごみ収集カレンダーや防災マップなどの翻訳したものを提供している。また、地域における取り組みとして、ボランティアの方による日本語教室が市内3カ所で運営されている。法改正後は、関係課との情報共有や国際交流協会との一層の連携、国の総合的対応策の推進、外国人集住都市会議への参画などで対応していきたい。

**その他の質問**○通学路について

## 市政運営について

**(質問)** 財政難に伴う人件費の削減について問う。防災・減災の備えや未来を託す子どもたちの教育環境を改善するため、市長以下特別職および部長級職員の給料を三重県並みに減額する予定はあるか。

**(答弁)** 本市の歳入は、リーマン・ショック以降、法人市民税が大きく減収し、いまだに回復し

ていない。歳出は、社会保障関係経費である扶助費を中心に経常的経費が大幅に増加したことにより経常収支比率が上昇し、厳しい財政状況にある。このような状況のもと、税収に頼るだけでなく、適切かつ多様な財源の確保に努めるとともに、全ての事務事業について見直しを行い、効率的で効果的な財政運営に努めている。財政の健全化に向けてのあらゆる取り組みを行う中で、将来の状況も勘案し、三重県が行う管理職員給料減額についての取り組みについても調査研究していく。